

## 資料 2

# 「前回委員会意見への対応」

### 目次

1. 地域海岸の特性 .....	1
2. 大すべり域の定義 .....	6
3. 津波水位の減衰の確認.....	8
4. 地域海岸の津波特性（占有率の整理） .....	9

---

---

# 1. 地域海岸の特性

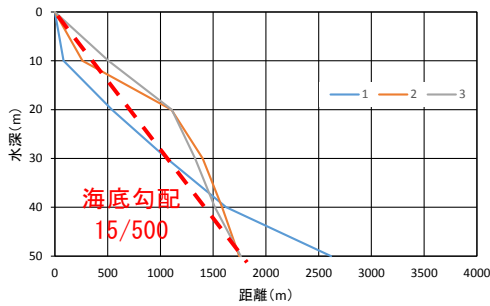
## 1.1 島根沿岸

島根沿岸について 11 測線設定し、水深や海底勾配を調べた。調べた結果は、最終的に決定した地域海岸毎にとりまとめた。なお、とりまとめに際し、海岸の向き、津波特性も併せて記載した。

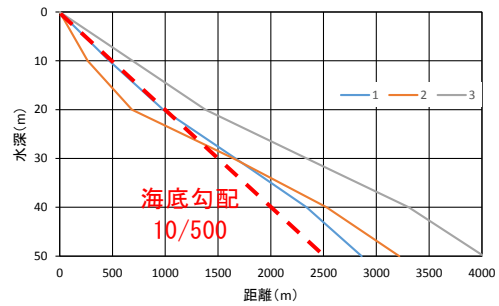
	地域海岸 1	地域海岸 2	地域海岸 3	地域海岸 4
500m 沖合の水深	15m	10m	50m	50m
海底勾配	15/500 (30/1000)	10/500 (20/1000)	50/500 (100/1000)	50/500 (100/1000)
海岸の向き	北	北	北	北
津波特性	F57 が卓越	津波高が比較的低い	F56 が卓越	F24,F28,F30 (日本海東縁部) が卓越

※海底勾配は下図より算出した

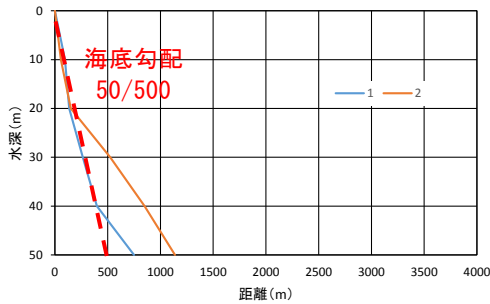
※津波特性は第 2 回委員会資料で提示した内容を引用



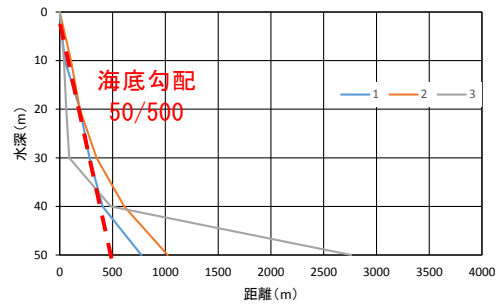
地域海岸 1



地域海岸 2

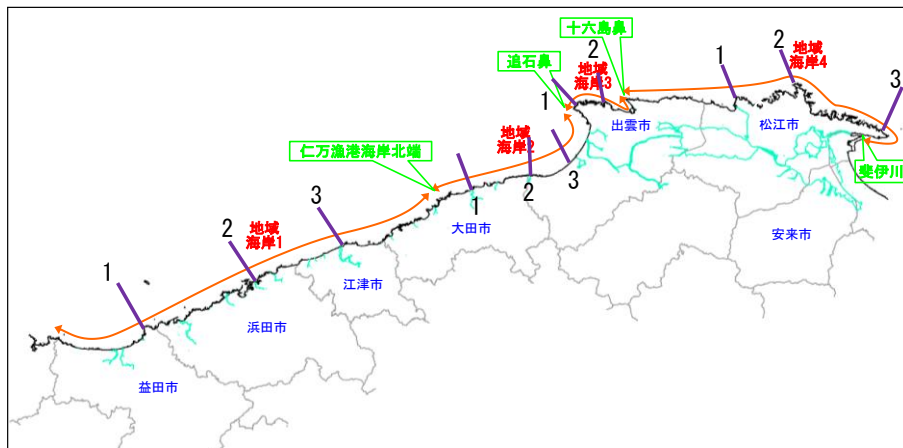


地域海岸 3



地域海岸 4

図 水深、海底勾配の状況



## 1.2 隠岐沿岸

### 1.2.1 隠岐の島町

隠岐の島町について、11 測線設定して島根沿岸と同様のとりまとめを行った。

	地域海岸 5	地域海岸 6	地域海岸 7	地域海岸 8
250m 沖合の水深	25m	20m	25m	25m
海底勾配	25/250 (100/1000)	20/250 (80/1000)	25/250 (100/1000)	25/250 (100/1000)
海岸の向き	東	湾内	南	西
津波特性	F55 が卓越	津波高が低い	津波高が比較的 低い	F24,F28,F30 (日本 海東縁部) が卓越

※海底勾配は下図より算出した

※津波特性は第 2 回委員会資料で提示した内容を引用

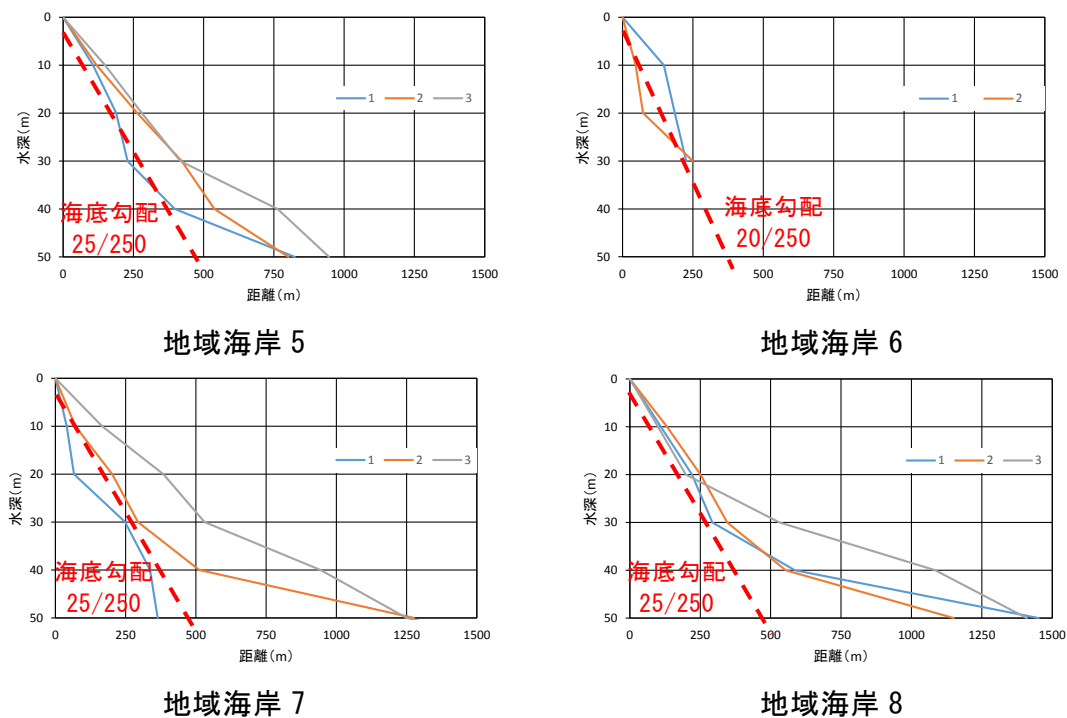
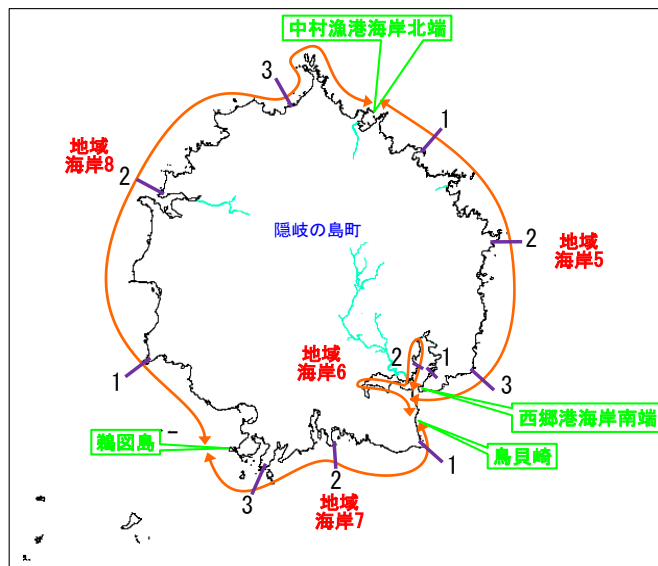


図 水深、海底勾配の状況



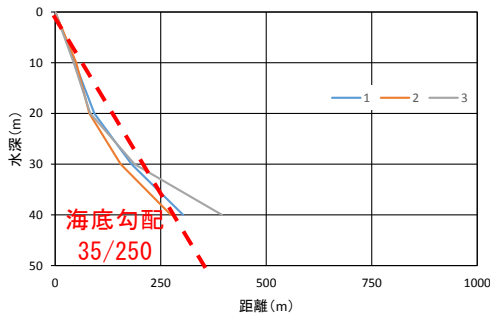
## 1.2.2 西ノ島町

西ノ島町について、6 測線設定して島根沿岸と同様のとりまとめを行った。

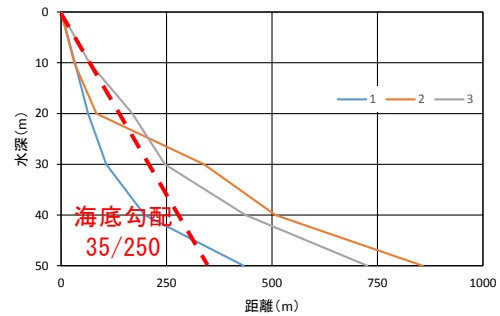
	地域海岸 9	地域海岸 10
250m 沖合の水深	35m	35m
海底勾配	35/250 (140/1000)	35/250 (140/1000)
海岸の向き	南	北
津波特性	津波高が比較的低い	F24,F28,F30 (日本海東縁部) が卓越)

※海底勾配は下図より算出した

※津波特性は第2回委員会資料で提示した内容を引用

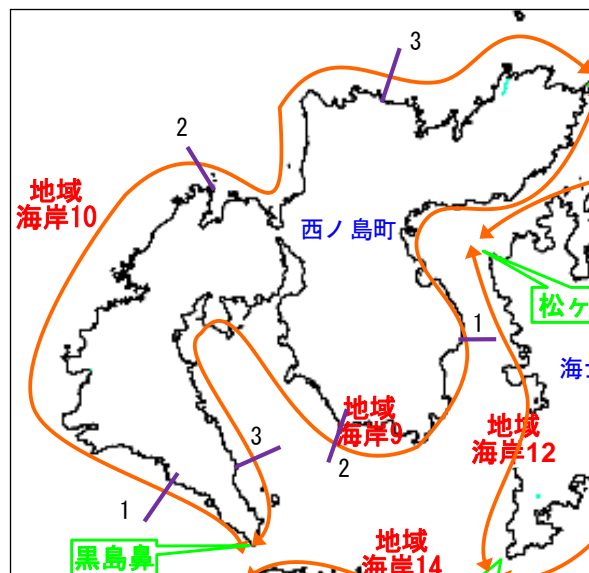


地域海岸 9



地域海岸 10

図 水深、海底勾配の状況



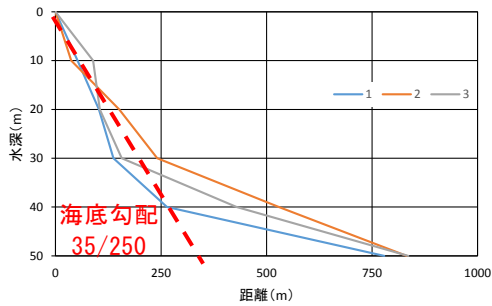
### 1.2.3 海士町

海士町について、9 測線設定して島根沿岸と同様のとりまとめを行った。

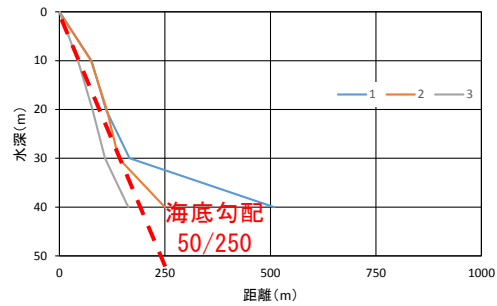
	地域海岸 11	地域海岸 12	地域海岸 13
250m 沖合の水深	35m	50m	15m
海底勾配	35/250 (140/1000)	50/250 (200/1000)	15/250 (60/1000)
海岸の向き	東	西	北
津波特性	F24,F28,F30 (日本海東縁部) と F55 が卓越 津波高が比較的高い	津波高が比較的低い	F24,F28,F30 (日本海東縁部) が卓越 津波高が高い

※海底勾配は下図より算出した

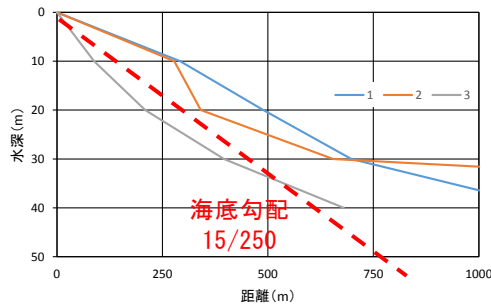
※津波特性は第 2 回委員会資料で提示した内容を引用



地域海岸 11

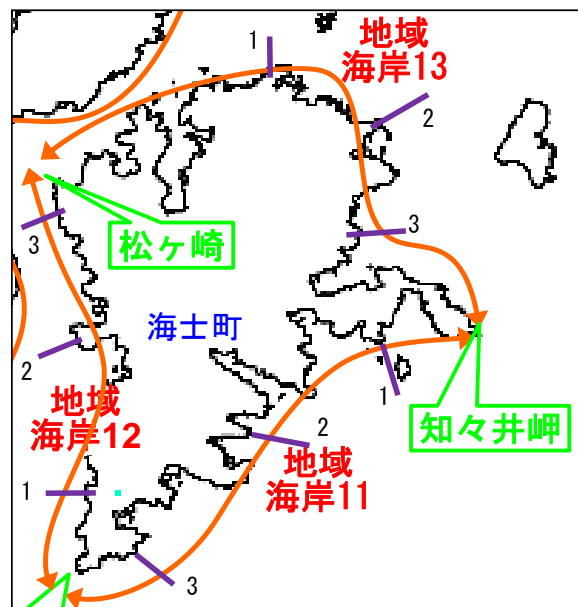


地域海岸 12



地域海岸 13

図 水深、海底勾配の状況



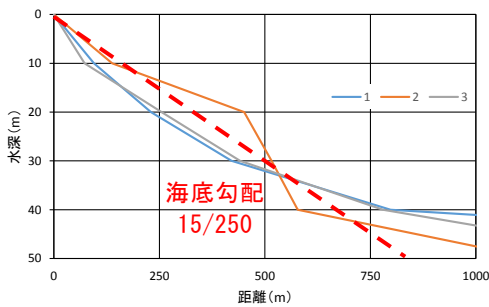
### 1.2.4 知夫村

知夫村について、5 測線設定して島根沿岸と同様のとりまとめを行った。

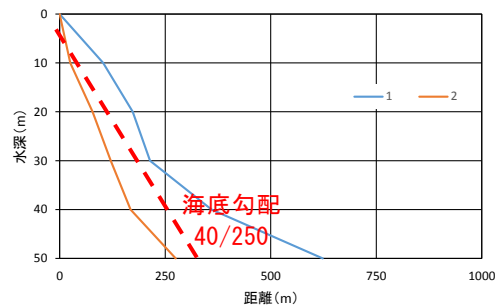
	地域海岸 14	地域海岸 15
250m 沖合の水深	15m	40m
海底勾配	15/250 (60/1000)	40/250 (160/1000)
海岸の向き	北	南
津波特性	F55 が卓越	F60、浜田市沖合、隠岐北西沖以外卓越

※海底勾配は下図より算出した

※津波特性は第 2 回委員会資料で提示した内容を引用

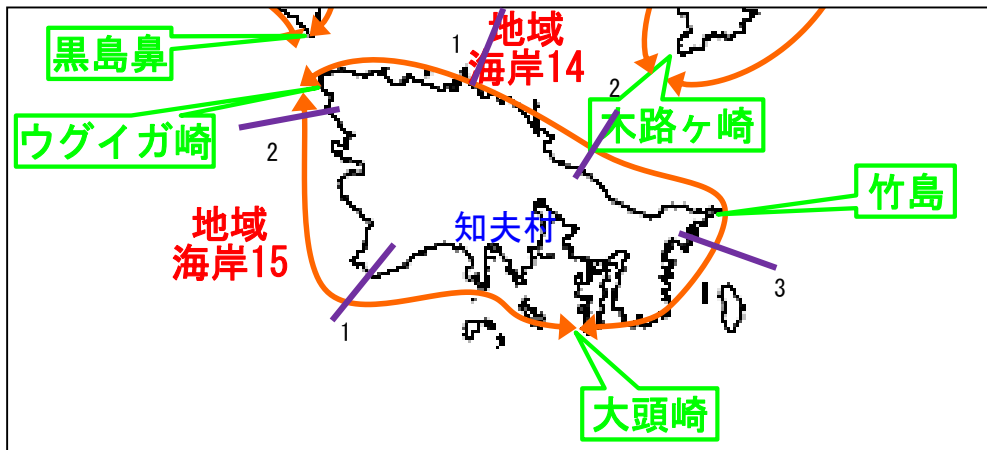


地域海岸 14



地域海岸 15

図 水深、海底勾配の状況



---

## 2. 大すべり域の定義

日本海における大規模地震に関する調査検討会では以下のとおり大すべり域を定義している。大すべり域は各セグメントの浅部側にひとつ配置し、走向方向に位置を変えて右側、中央、左側の3ケース設定することを基本ケースとしている。(次ページの図参照)

### 5. 4 大すべり域

#### (1) 大すべり域の設定

津波断層モデルには、実際の地震のすべりの不均質性を考慮して、大すべり域を設定した。大すべり域の設定方法は以下のとおりとした(中央防災会議, 2007))(図 45)。

- ・大すべり域のすべり量は平均すべり量の2倍とする。
- ・大すべり域の面積は断層全体の20%程度とする。
- ・大すべり域の深さ方向の幅は断層幅の50%程度とする。

#### (2) 大すべり域の位置の設定

また、大すべり域の位置や形状は以下の通り設定する。

- ・大すべり域は小断層からなる矩形(くけい)とする
- ・大すべり域は、各セグメントの浅部側に一つ配置する。
- ・各セグメントの大すべり域のすべり量はセグメントの大きさによらず、総地震モーメントから求まる平均すべり量の2倍とする。
- ・背景領域(大すべり域ではない領域)のすべり量は、総地震モーメントが平均すべり量モデルと同じとなるように設定する。
- ・大すべり域の位置により津波が高くなる場所が異なるため、走向方向に位置を変えた場合を検討する。位置の変え方は以下のケースを考える(図 46)。

基本ケース：走向方向に位置を変えて右側、中央、左側の3ケースを設定する

隣接ケース：複数のセグメントがある場合は、大すべり域が隣接したケースも考慮する。隣接ケース数はセグメントの数で異なり、セグメントが二つの場合：1ケース、三つの場合：2ケース、四つの場合：4ケースとなる。

出典：日本海における大規模地震に関する調査検討会報告書、平成26年9月、P.20



基本ケースの右側・中央・左側とは、断層モデル上辺から見て、大すべり域を設定した方向を表している（下記図面参照）。

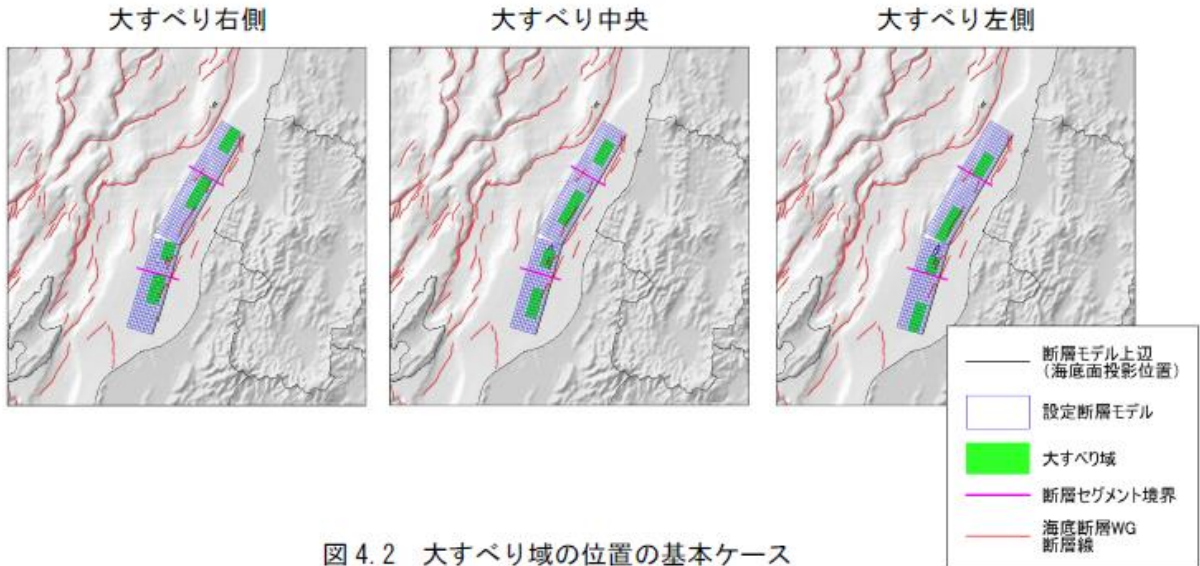


図 4.2 大すべり域の位置の基本ケース

出典：日本海における大規模地震に関する調査検討会報告書 データ集②、平成 26 年 9 月

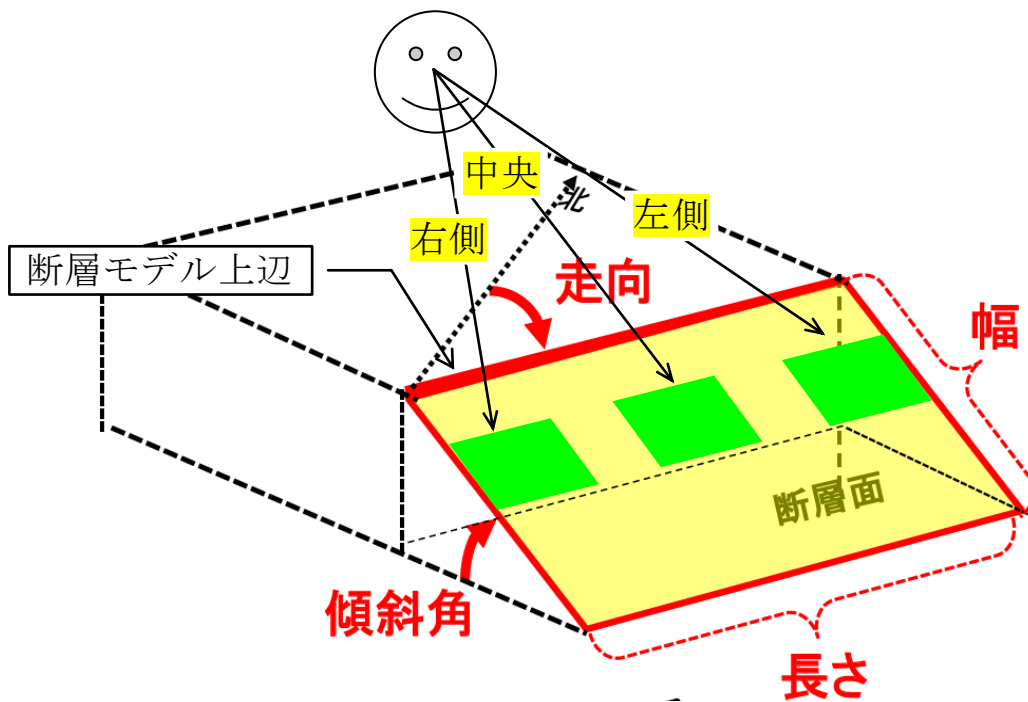


図 大すべり右側・中央・左側の配置イメージ（上記基本ケースの説明図から作成）

### 3. 津波水位の減衰の確認

下図に示すように津波水位をモニターし、計算時間内に津波水位が減衰していることを確認した。下図は、津波水位のモニターの一例である。

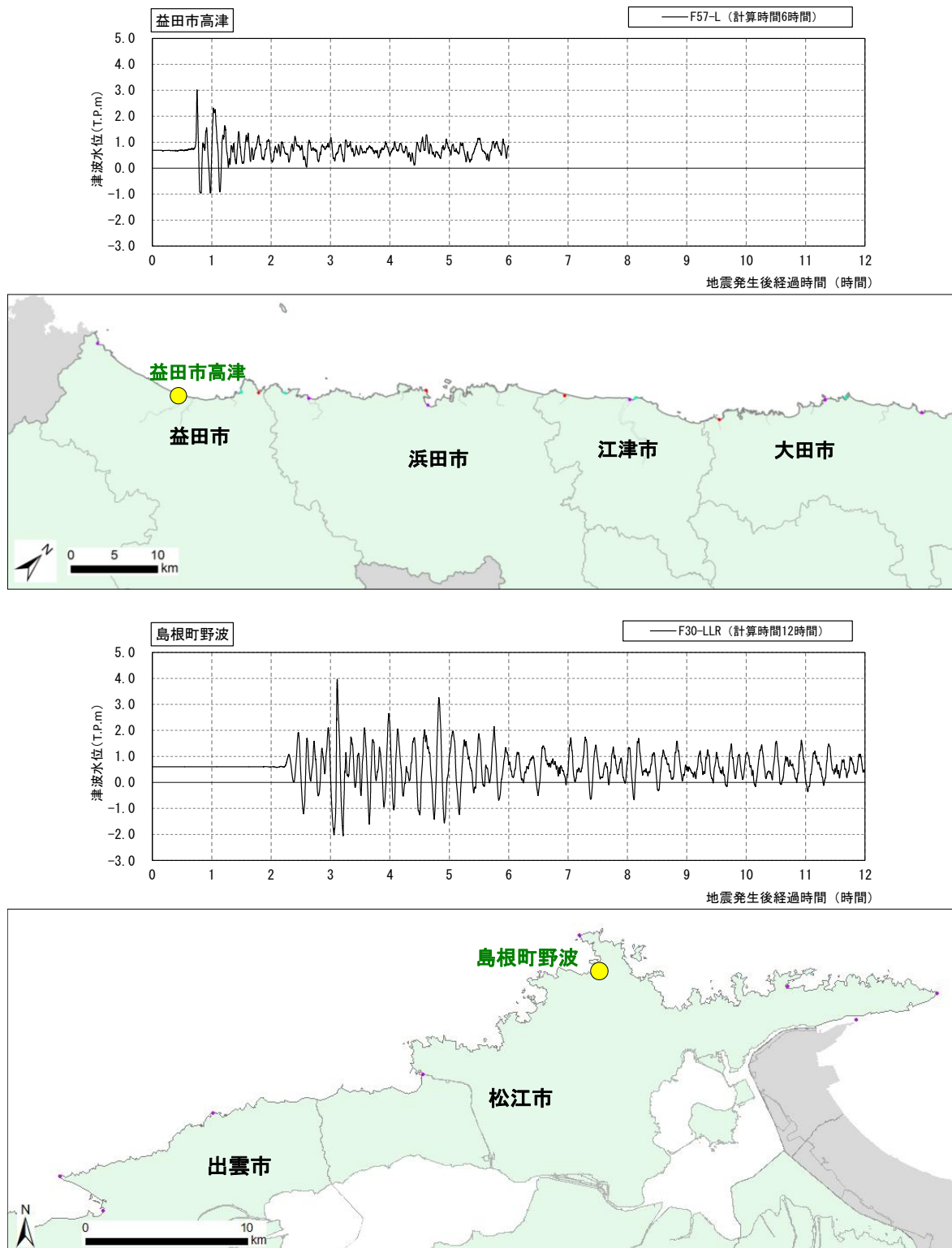
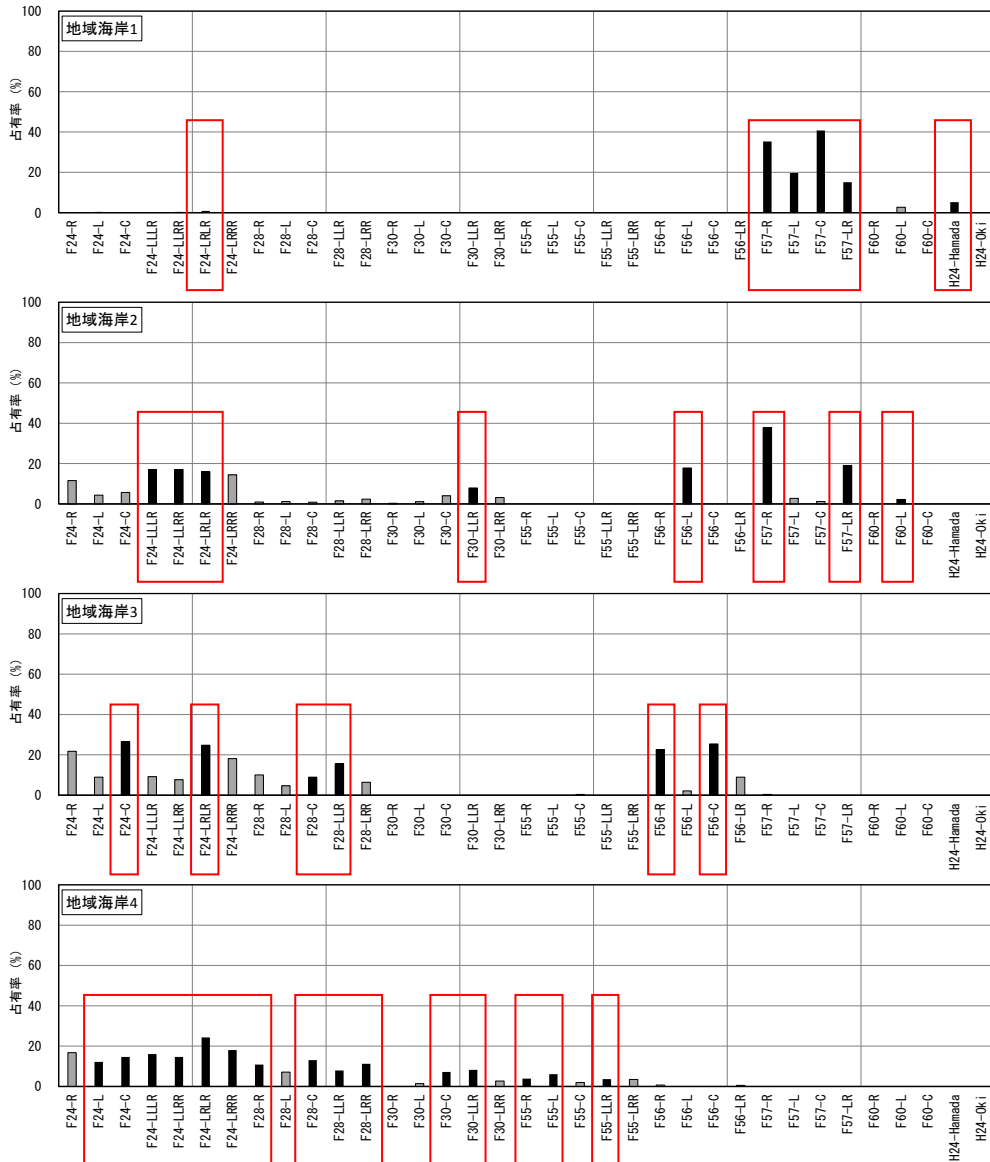
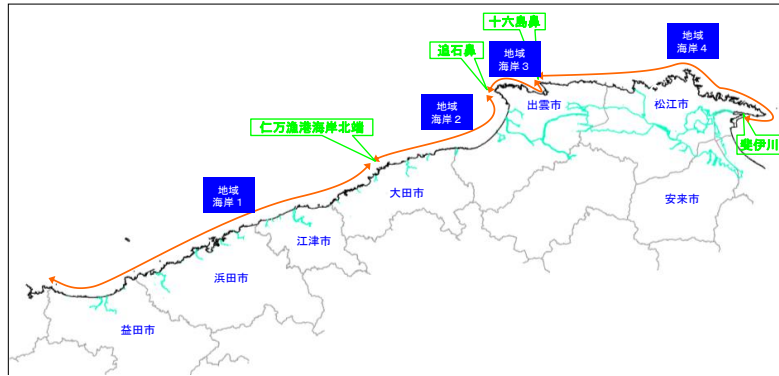


図 津波水位の時系列

## 4. 地域海岸の津波特性（占有率の整理）

### 4.1 島根沿岸（地域海岸 1～4）



※1：H26 国算出データ（0.1m 単位の津波高）により整理。

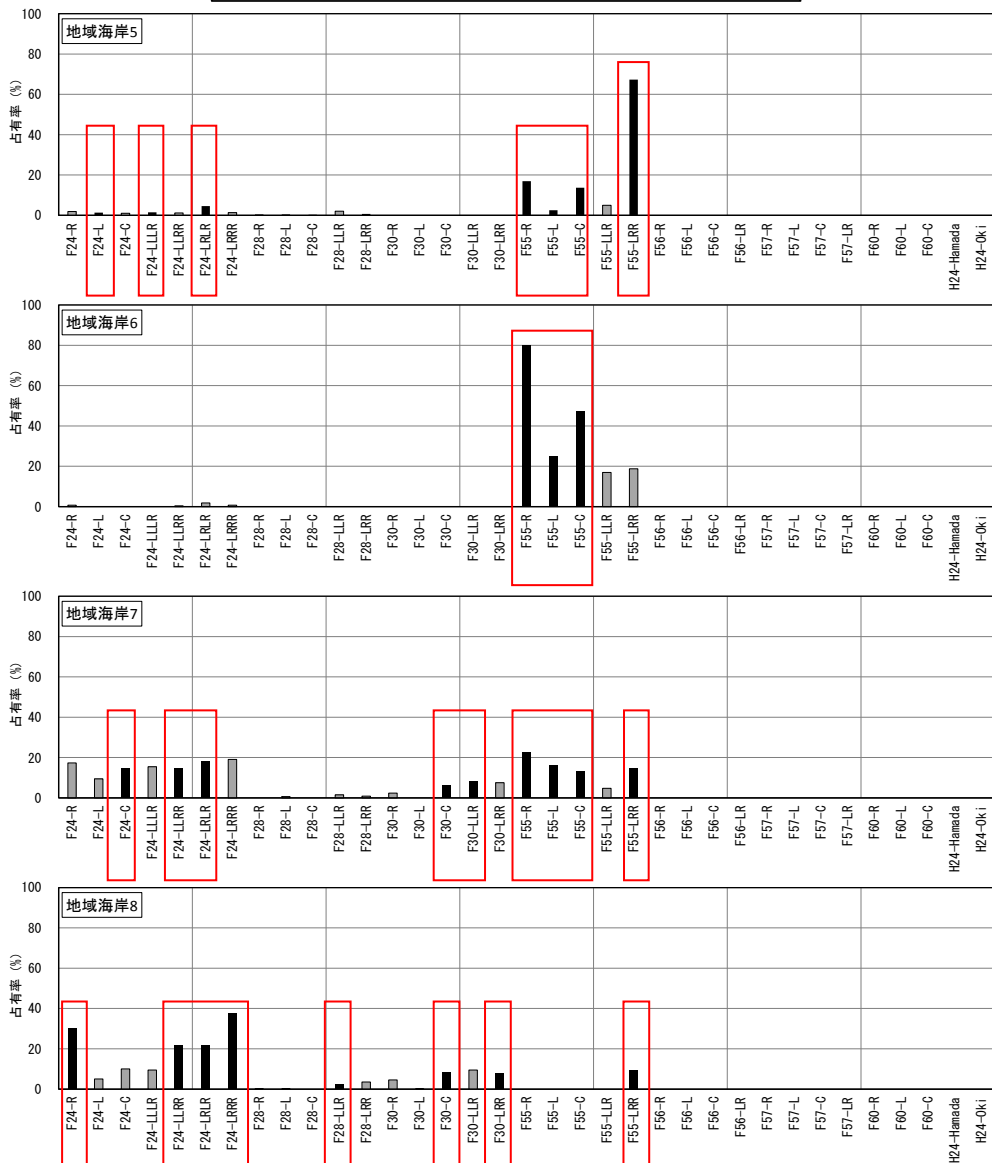
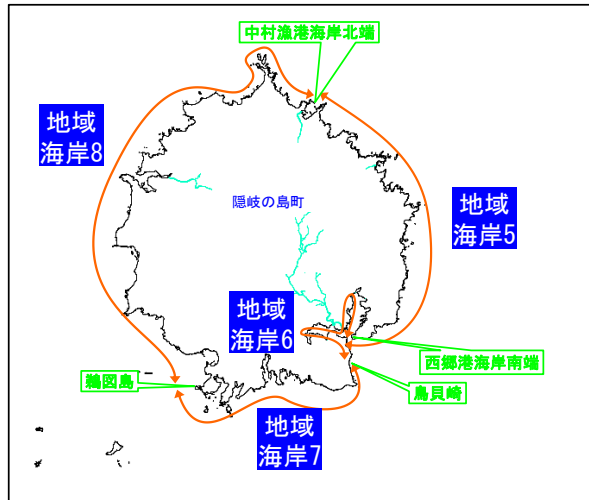
※2：0.1m 単位の津波高のため、津波高が最大となるケースが複数になるメッシュが多数あった。

該当するメッシュでは、1 ケースの津波にて代表させた（代表にならなかったケースは■で表示）。

※3：□は最大クラスの津波（L2 津波）として第 2 回委員会にて選定された断層

## 4.2 隠岐沿岸

### 4.2.1 隠岐の島町（地域海岸5～8）



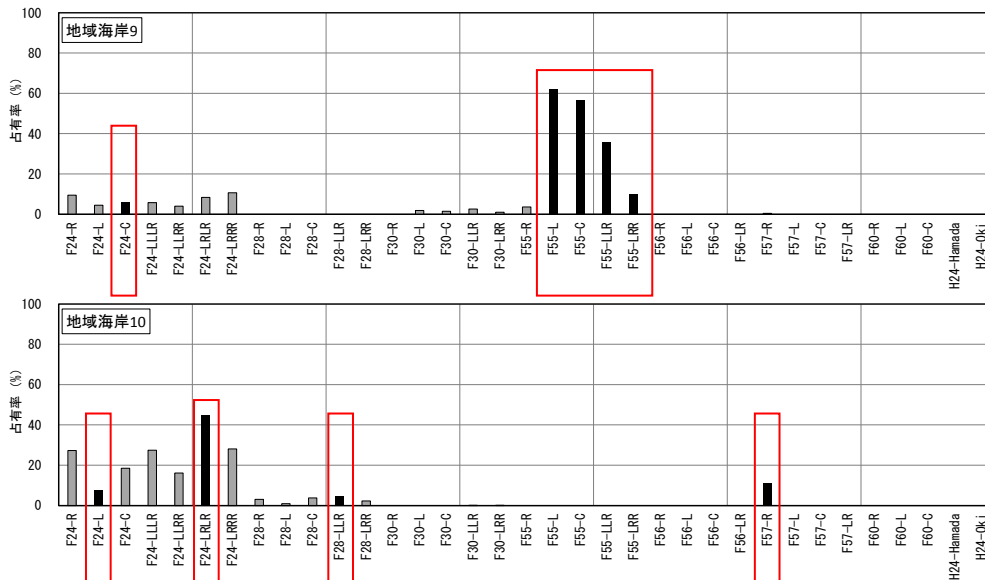
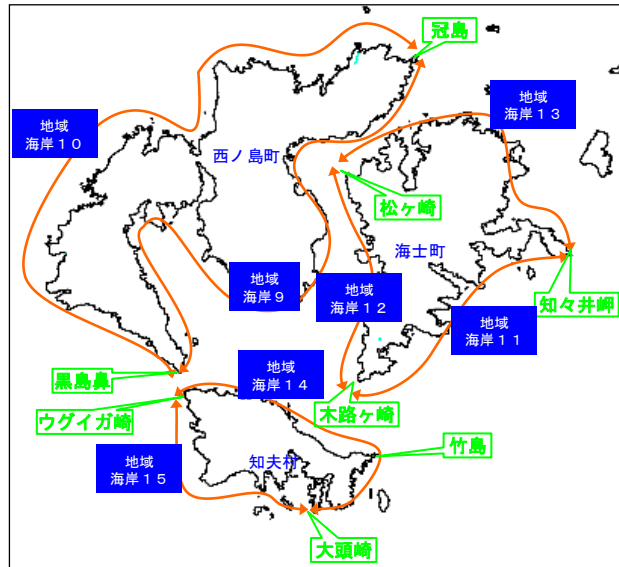
※1：H26 国算出データ（0.1m 単位の津波高）により整理。

※2：0.1m 単位の津波高のため、津波高が最大となるケースが複数になるメッシュが多数あった。

該当するメッシュでは、1 ケースの津波にて代表させた（代表にならなかったケースは■で表示）。

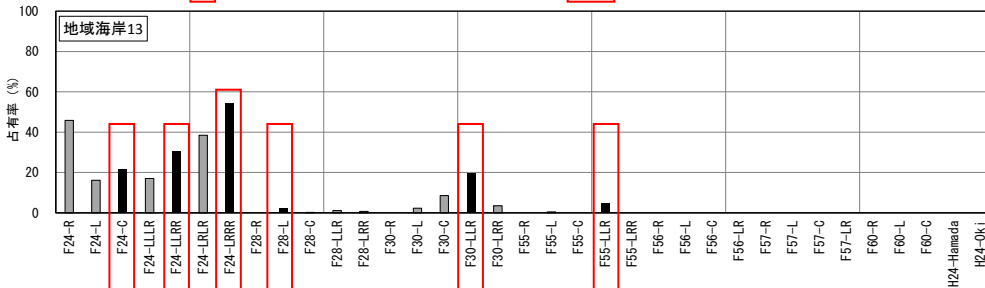
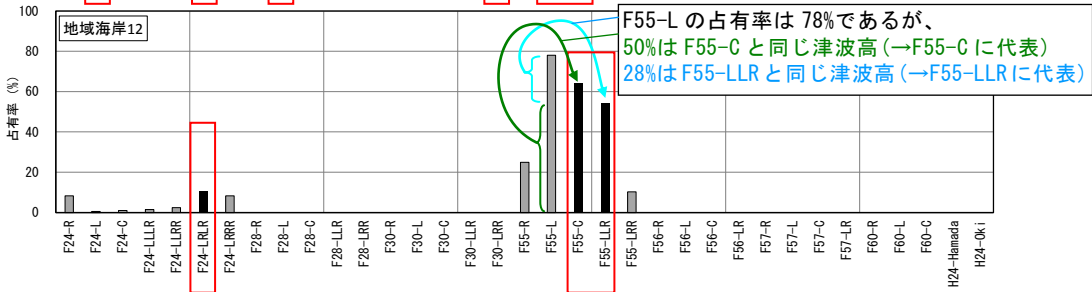
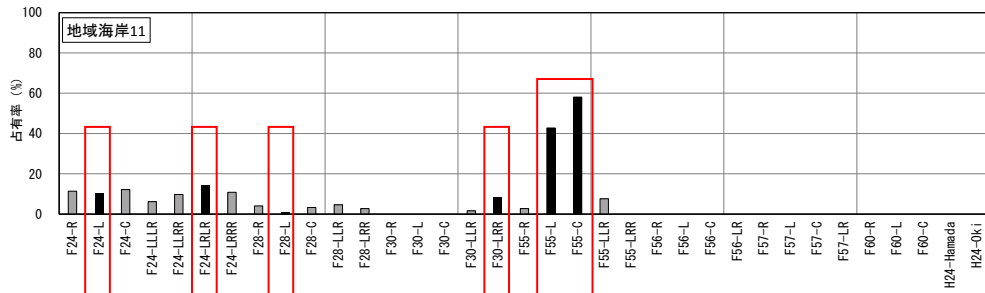
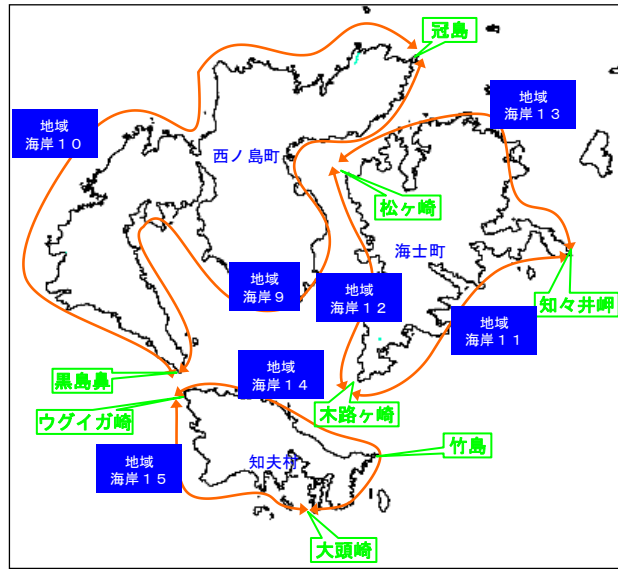
※3：□は最大クラスの津波（L2 津波）として第2回委員会で選定された津波

#### 4.2.2 西ノ島町（地域海岸 9～10）



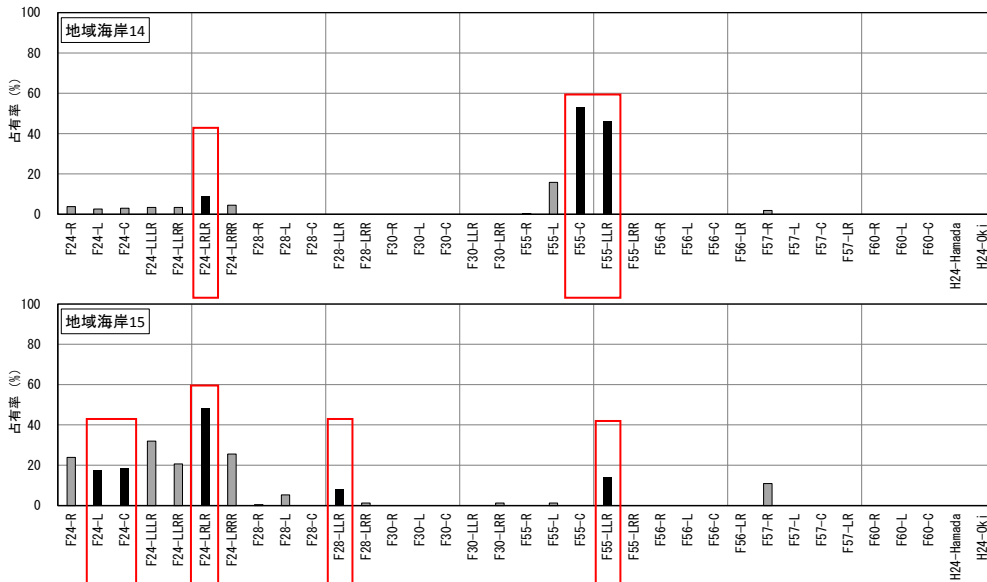
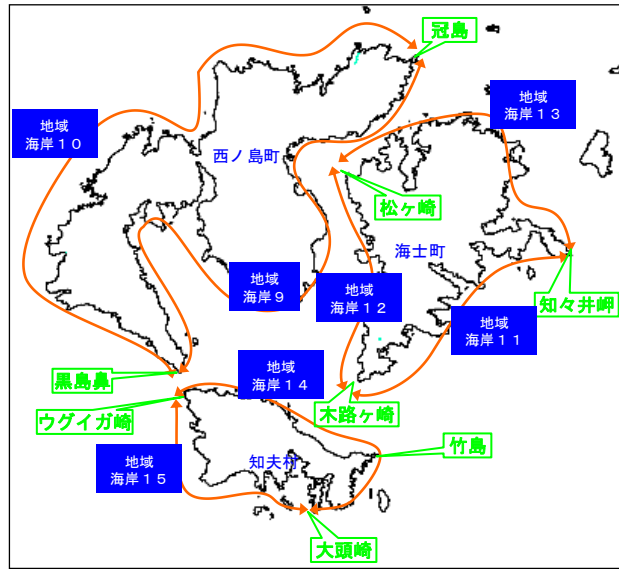
- ※1：H26 国算出データ（0.1m 単位の津波高）により整理。
- ※2：0.1m 単位の津波高のため、津波高が最大となるケースが複数になるメッシュが多数あった。  
該当するメッシュでは、1 ケースの津波にて代表させた（代表にならなかったケースは■で表示）。
- ※3：□は最大クラスの津波（L2 津波）として第 2 回委員会にて選定された津波

### 4.2.3 海士町（地域海岸 11～13）



- ※1：H26 国算出データ（0.1m単位の津波高）により整理。
- ※2：0.1m単位の津波高のため、津波高が最大となるケースが複数になるメッシュが多数あった。  
該当するメッシュでは、1ケースの津波にて代表させた（代表にならなかったケースは■で表示）。
- ※3：□は最大クラスの津波（L2津波）として第2回委員会で選定された津波

#### 4.2.4 知夫村（地域海岸 14～15）



- ※1：H26 国算出データ（0.1m 単位の津波高）により整理。
- ※2：0.1m 単位の津波高のため、津波高が最大となるケースが複数になるメッシュが多数あった。  
該当するメッシュでは、1 ケースの津波にて代表させた（代表にならなかったケースは■で表示）。
- ※3：□は最大クラスの津波（L2 津波）として第 2 回委員会にて選定された津波